

の間以外は入ることができません。また日本の大学では自分の国の言葉で講義をされていますが、パキスタンではすべて英語で行われますから、外国人留学生にもだいたい理解できます。

## 日頃の生活：

パキスタンではどんな所にもサーバントシステムがありますから、いろいろなことを他

の人にやってもらえるのですが、日本ではそんなことはまったくありません。すべて自分でしなくてはなりません。私は日本のシテムの方が好きです。何故なら、自分でいろいろができるようになるからです。

おわりに、日本にきていろいろな問題はありましたが、私は日本の生活が好きです。私の研究（中生代から新生代への移行期における地層と有孔虫類の変化）も次第に軌道に乗ってきて、日本語も難しいのですが楽しく少しずつ勉強を続けています。

## 日本とマレーシアの 国家のことについて

医学系研究科博士課程社会学系専攻三学年

アムラン・アーメッド



マレーシアの面積は約三三万km<sup>2</sup>で、日本より僅かに小さく、日本の約〇・九倍にあたる。マレーシアの人口は一七〇〇万人である。マレー半島とボルネオ島北部のサラワク、サバ両州からなる複合民族国家。熱帯気候にあり

年中気温差の少ない高温多湿の気候が続く。一六世紀から一八世紀にかけて、ポルトガル、オランダ、イギリスの列強国が次々と進出した。二〇世紀に入ってもイギリスや日本支配下に置かれた。植民地化される前はマレー

シアの各地に別々の小マレー王国が存在していた。イギリス植民地時代は中国やインドから多数人を入植させた。このような歴史的背景からマレー固有の文化に西欧、中国、インド、イスラム文化が合流し、エキゾチックな色彩を強めている。

街を歩いていると、さまざまな民族衣装のさまざまな顔に出会う。多民族国家マレーシアではマレー、中国、インド系の国民がそれぞれのライフスタイルや宗教を尊重しあって共存し、この多文化混在が大きな魅力となっている。

歴史、民族、言語、宗教、文化、地理といった背景のちがった人々からなる国家の建設は時間がかかる。しかし、マレーシアの民族はそれぞれの宗教、文化、価値観を守りながら、お互いのことを理解して、認めてその他人の価値観を尊重するようになった。こうしてマレーシア人は、国民の統一と国の平和を守っている。

今日マレーシアは多民族が平和で共存して、国の成長、進歩を安定に達成している国として世界でもよく知られている。

広島は「平和の都市」としてよく知られている。広島市民は国際的友好と平和を促進するためにマレーシア人の統一の経験から学べると思う。他国の人の文化、宗教、価値観を理解して、尊重するのは国際的友好・国際化の本当の意味だと思う。

アパカバール  
今日は！ Apa Khabar